

愛西市ファミリー・サポート・センター事業委託プロポーザル審査講評

愛西市ファミリー・サポート・センター事業委託特定審査会
会長 清水 栄利子

1 選定経緯

令和6年5月22日に愛西市健康子ども部長より、6名に対して本プロポーザルの特定審査会委員の依頼があり、その後、3回にわたる特定審査会で審議を行い、最優秀者及び次点者を特定した。

(特定審査会委員)

会 長	清水 栄利子	愛西市副市長
委 員	高松 潤也	愛西市保険福祉部参事
委 員	堀田 毅	愛西市総務部財政課長
委 員	平野 千津	愛西市佐屋中央保育園長
委 員	加藤 紀佳子	愛西市佐屋児童館長
委 員	藤松 志乃	愛西市健康子ども部健康推進課主査

(事務局)

愛西市健康子ども部子育て支援課、総務部財政課

(1) 第1回特定審査会 (令和6年6月20日)

第1回特定審査会では、委員の互選により、清水栄利子委員が会長に選出された。

その後、愛西市ファミリー・サポート・センター事業委託プロポーザル実施要領(案)等について審議した。

その後、今後の特定審査会スケジュールについて審議した。

(2) 第2回特定審査会 (令和6年8月20日)

提出された2者(A者・B者)の参加表明書等により参加資格要件について審議し、その結果、2者ともに第2次審査参加者として選定した。

また、①団体の経営状況、②団体の業務実績の2点について第1次審査を行った。審査方法は、評価基準に従ってあらかじめ事務局が採点した結果について、これを了承した。

(3) 第3回特定審査会 (令和6年10月4日)

非公開の場において、選定した2者による個別プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。終了後、業務提案書の内容、プレゼンテーション及びヒアリングの総合評価による第2次審査を行い、各審査委員が最終的な評価をし、集計を行った。

なお、業務提案書のうち見積額については、評価基準に従ってあらかじめ事務局が採点した結果を了承した。

集計結果をもとに最終的な審議を行い、最高得点の者（B者）を最優秀者として特定、次位の者（A者）を次点者とした。

2 選定講評

第1次審査で選定された2者が、事前に提出のあった業務提案書に基づき、全体体制、アドバイザー、事務局体制、広報・会員受付、会員講習・交流、援助活動支援、会員数増加のための工夫の7項目についてプレゼンテーションを行い、その後ヒアリングを実施し、その内容について審査員が公平、かつ、厳正に審査した。

結果として、資料に即した分かりやすいプレゼンテーション及び質疑応答がされ、日常的な内部監査体制、会計経理・報告書類作成等の実施体制についての評価に差が生じ、第1次審査結果との総合得点で、最高得点者であるB者を最優秀者として特定することとなった。